

# 学校図書館支援センター通信 NO.116 11月号

平成29年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

## 学校図書館活用授業時間数調査(前期)の報告



今年度の前期（4月～9月分）の学校図書館活用授業時間数調査の結果をお知らせします。小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校の合計が、17,744時間でした。2年連続で、外国語・英語での活用が増えています。

また、図書貸借システム（ネットワーク便）の利用も活発に行われ、11月15日（水）現在 相互貸借冊数 30,005冊です。メーリングリストの内容を見てみると、同じ学年の同じ単元でも、図書資料の活用の仕方に違いが見られ、各教科等で様々な活用がされていることがわかりました。

例えば、小学2年生の国語科「きつねのおきゃくさま」を題材として扱った単元では、「あまんきみこさんの作品を読もう」や「くりかえしのある話を作ろう」など、授業者によって単元のねらいが異なります。そのため、「あまんきみこさんの作品」や「くりかえしのあるお話」などねらいに合わせて、図書資料の用意が必要です。十分な図書資料をそろえ、目的にあわせて図書資料を活用することで、子供たちの読書の幅が広がり、さらに、お話を書くなどの力を育てていくことにつながります。市内の学校司書が、先生方の授業のサポートをしてくださっています。後期も引き続き、学校図書館の有効な活用をお願いします。

教科等	活用時間数
国語	11,106
社会	960
算数・数学	10
理科・生活科	1,180
音楽	0
図工・美術	533
体育・保健	10
家庭科・技術科	89
外国語・英語	294
総合	3,358
道徳	53
特別活動	105
その他	46
合計	17,744

## わくわくドキドキ 中央図書館 出張おはなし会 ~大洲幼稚園~



中央図書館では、幼稚園、小学校1～4年生、特別支援学校を対象に「出張おはなし会」というサービスを行っています。要望のあった園や学校へ出向き、読み聞かせやパネルシアター、手遊びなどを行います。出張おはなし会で紹介される作品は、対象となる子供たちや時間・場所、園や学校の要望等を踏まえた上で、担当職員が選書をしています。

11月15日（水）、大洲幼稚園で行われた「出張おはなし会」の様子を紹介します。

この日は、11月生まれのお誕生日会が行われていました。お誕生日の子供たちへのインタビューや園児たちのお祝いの歌などあたたかい雰囲気での進み、いよいよお楽しみの時間「出張おはなし会」が始まりました。

「みんなも参加してくれるかな」という呼びかけでスタートした大きな紙芝居「みんなでぼん」。円や四角、三角の形からいろいろなものが出てきます。子供たちも「みんなでポン」と声をそろえて参加していました。次に紹介したのが大型絵本「おべんとうバス」です。「知っている」と言う子がいるほど大好きな絵本を前に、終始笑顔の子供たちでした。最後に、手遊びを2種類行いおはなし会は終わりました。子供たちから「もっと聞きたいな」という声があがるほど、楽しい時間となりました。

### 大洲幼稚園図書コーナー

毎週金曜日に本の貸出を行っています。



大町小学校では、6月の読書週間に図書委員によるお話会と、「図書室と図書委員のおすすめ本コーナー」を作り、おすすめ本を読むとシールやしおりがもらえるスタンプラリーを行いました。業間休みや放課後に



足繁く図書室に通う子供達の姿がたくさん見られました。

11月の読書週間では辞書引き大会、クイズ大会、ブラックライトシアターを行いました。

2月には、手作りの百人一首で練習を重ねてきた成果を發揮する全校百人一首大会を行います。

図書委員の子供達は、小規模校で人数が少ない分、一人一人の役割が大きく、図書のイベントで大活躍しています。

（市川市立大町小学校 学校司書 高木 彰子）

### ~塩焼小学校~

## 作家講演会『ひとり ひとりが みんなたいせつ』 くすのき しげのり さん



11月9日（木）児童文学作家「くすのき しげのりさん」をお招きし、「ひとり ひとりが みんなたいせつ」をテーマに作家講演会が行われました。くすのきさんは、今回の講演会のために徳島県より足を運んでくださいました。

低学年の講演会の冒頭で「今日は、みなさんに友達のこと自分のことを考えてもらいたいです。」という話があり、「モモンガくんとおともだち」「おこだてませんように」「ええところ」の読み聞かせを通して、子供たちに大切なことを伝えていました。また、高学年の講演会では、「ええところ」「泥かぶら」の読み聞かせをしてくださいました。作家講演会に向けて、たくさんの本を読んできた子供たちにとって、作者ご自身からの読み聞かせは、一人で読んだ時とはちがう印象を受けたり、新しい発見があったりしたのではないのでしょうか。大変貴重な経験となりました。

くすのきさんの作品の秘密も教えてもらいました。

- 秘密① 作品に出くる主人公は、作品同士でつながっています。
- 秘密② 登場人物の日常の様子や心の揺れ動きが描かれています。
- 秘密③ 絵本の中の絵に着目してみると、たくさんの工夫がされています。



くすのきさんの作品の秘密を知った子供たちは、これからの読書がまた一段と楽しみになったことでしょう。

子供たちに本を通して伝えたいメッセージをいくつか紹介します。

- ☆ 目には見えないいいところをさがしてほしい。（『ええところ』より）
- ☆ 愛が愛をよぶ。人間には美しい真心がある。（『泥かぶら』より）
- ☆ 人は、自らの意思によって、よりよく生きることを選ぶことができる。

このようなメッセージが、作品の一つ一つに隠されています。「心も体もすこやかに。どんな人になりたいか考えながら夢を現実にしてほしい。」という言葉で、講演が締めくくられ、とても心温まる作家講演会となりました。

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。

市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）  
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4  
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352  
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

